



こんにちは。トリプルアイズの白石です。
いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「半額も！アルコール検知器導入で申請できる補助金・助成金を紹介」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、

「社外取締役へヘッドウォータース代表の篠田庸介氏が就任」

「あの世界遺産で顔認証AIの実証実験を行いました」

「当社代表・山田がマネーサテライトに出演」

についてご紹介いたします。

そして連載「アルコールチェック対策ウェビナーQ&Aをご紹介」では、随時開催しているアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーの質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。

IT 批評では、12月の編集長レビュー

「永劫回帰と再帰性、キッチュと偶然性 ミラン・クンデラから考える」をご紹介します。

どうぞ最後までお付き合いください。

-----<目次>-----

1. 半額も！アルコール検知器導入で申請できる補助金・助成金を紹介
2. トリプルニュース
3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&Aをご紹介
4. IT 批評
5. 編集後記

1.半額も！アルコール検知器導入で申請できる補助金・助成金を紹介



いよいよ今月1日から、白ナンバー事業者のアルコール検知器による確認義務がスタートしました。とはいえ、まだ準備中であるとか、いったんアルコール検知器を導入したものの使い勝手が悪いのでリプレースを考えている、なんて会社様も多いと思います。

経営者や担当者の方のなかには、「アルコール検知器導入にかかる費用を抑えたい」と考える方も少なくないでしょう。

本記事では、アルコール検知器の導入により受け取ることができる**補助金・助成金**について解説します。**事業のコスト削減にお役立てください。**

アルコール検知器の導入でもらえる補助金・助成金には下記のものがあります。

- 安全装置等導入促進助成事業（全日本トラック協会）
- IT導入補助金（独立行政法人中小企業基盤整備機構）
- デジタルツール導入促進支援助成金（東京都中小企業振興公社）

それぞれについてご説明します。

●装置等導入促進助成事業（全日本トラック協会）

これは**緑ナンバーの運送事業者が対象**となります。**Gマーク認定事業所が導入する場合に限り**、助成対象となります。

助成率：対象装置ごとに機器取得価格の1/2

上限限度額：対象装置ごとに上限2万円

申し込み・申請期間等の詳細：[各都道府県トラック協会](#)にお問合せください。

白ナンバー事業者を対象にしたものとしては、以下の2つの補助金・助成金があります。トリプルアイズでは、お客様が申請する際に必要となる申請手続きを支援いたします。

●IT 導入補助金（独立行政法人中小企業基盤整備機構）

中小企業・小規模事業者が自社の課題やニーズに合った IT ツールを導入する経費の一部を補助することで、業務効率化・売上アップをサポートする制度です。

IT 導入補助金 2023

補助率：1/2

助成限度額：5万円以上 150万円未満

●デジタルツール導入促進支援助成金（東京都中小企業振興公社）

東京都内の中小企業者等（会社・個人事業主・中小企業団体）を対象に、新たに導入するデジタルツール購入にかかる経費（ツール本体）と、そのデジタルツール導入にかかる初期設定、カスタマイズ、運用・保守サポートに要する費用（関連経費）の一部を助成する制度です。

東京都中小企業振興公社

助成率：1/2（小規模企業者は 2/3）

助成限度額：100万円（下限額 5万円）

ご興味のある会社様、担当者様はぜひお問合せください：info@3-ize.jp

助成額シミュレーション

例) AIZE Breathハンディタイプ(ミタチ産業製アルポーター)20台導入の場合

※初期費用・基本料金・月額費用・日報機能(オプション)を含む。

※IT導入補助金、デジタルツール導入助成金の適用で、最大で50%OFFとなります。

※IT導入補助金、デジタルツール導入助成金、いずれの補助金にも上限額がございます。

※助成金のご利用には諸条件があります。必ず採択されることを確約するものではありません。



2.トリプルニュース

「社外取締役兼ヘッドウォータース代表の篠田庸介氏が就任」

2023年11月29日開催の第15回定時株主総会において、株式会社ヘッドウォータース代表取締役である篠田庸介氏が社外取締役に就任したことをお知らせいたします。

詳細はこちら：<https://www.3-ize.jp/information/4017/>

「あの世界遺産で顔認証AIの実証実験を行いました」

2023年11月3日～5日に開催された「ライトアップ日光2023」で当社の**人数カウントカメラ「AIZE Counter」**と**顧客マーケティングシステム「AIZE Research」**を使用した実証実験が行われました。



実験はアップデート株式会社ととちぎビジネスAIセンターの協力のもと、トリプルアイズのAI画像認識プラットフォーム・AIZEによる来訪者分析を対象として実施されました。これまでの**主観的な来訪者像に代えてデータに基づく分析が可能になりました。**

詳細はこちら：<https://www.3-ize.jp/information/4013/>

「当社代表・山田がマネーサテライトに出演」

松井証券が運営する投資情報メディアにて、個人投資家様向けの動画が公開されました。



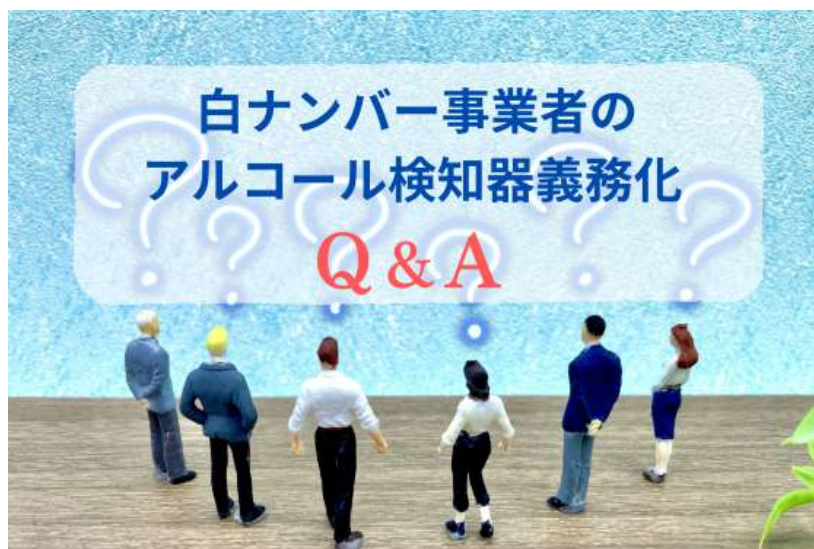
収録に臨む代表の山田。左はキャスターの小川真由美氏

動画では山田が当社の事業、AI 開発へと至る沿革をはじめ、現在注力している AI 事業と GPU サーバー事業のシナジー、今後の展望などを語っています。

ぜひ[こちら](#)よりご覧ください。

3. アルコールチェック対策ウェビナーQ&A をご紹介

当社ではアルコールチェックに関する法令対策ウェビナーを随時開催しています。こちらでは質疑応答でいただいた内容を抜粋して紹介します。



Q. アルコールチェックの記録はいつまで保管が必要ですか？

A. チェックの内容を記録し、およびその記録を1年間保存することが求められています。

白ナンバーアルコールチェックのウェビナー情報はこちら：https://www.3-ize.jp/case/detail_20230612.html

4. 【IT 批評】 12 月の編集長レビュー

「永劫回帰と再帰性、キツチュと偶然性 ミラン・クンデラから考える」



「再帰性」という言葉は、人の言語や思考のあり方を考える上でのキーワードであり、チョムスキーの生成文法で触れた方も多いでしょう。今回のレビューでは、ミラン・クンデラが扱う“軽さ”やチャーホフの喜劇問題、ユク・ホイの話題作から再帰性や偶然性について論考しております。興味のある方はぜひご一読ください。<https://it-hiyou.com/>

編集後記

今回も最後までお読みいただきありがとうございました。

今年もあっという間に 12 月ですね。皆様にとって今年はどんな一年でしたか？ 先日代表の山田が、2023 年のトリプルアイズを表す漢字として「改」を挙げていました。世間的にもコロナが明け、社内でも色々な制度を改め、来年に向けて基盤が整ったと話をしていました。来年は辰年。皆様にとっても龍のように飛躍の年となりますように。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに！
